

Kansai Geo-Symposium 2023

—地下水地盤環境・防災・計測技術に関するシンポジウム—

開催および広告募集のお知らせ

主催：(公社)地盤工学会関西支部，地下水地盤環境に関する研究協議会
協賛：(公社)土木学会関西支部，(公社)日本材料学会関西支部，
(公社)日本地すべり学会関西支部，(一社)日本建築学会近畿支部，
(公社)日本地下水学会，(一社)日本応用地質学会関西支部，
(公社)日本水環境学会関西支部，(公社)土木学会岩盤力学委員会，
現場計測コンサルタント協会

地盤工学会関西支部と地下水地盤環境に関する研究協議会では，昨年引き続き，共催で「*Kansai Geo-Symposium 2023* —地下水地盤環境・防災・計測技術に関するシンポジウム—」を開催する運びとなりました．本シンポジウムを関西における地盤研究発表会のプラットフォームとするため，日々埋もれがちな貴重な計測データや地盤環境に配慮した工事事例・技術開発など実務的な内容を含めて，今年も幅広い分野をテーマとしております．これらの業務に携わる多くの技術者，研究者の皆様の多数のご参加をいただきますよう，ご案内いたします．

また，本シンポジウムでは論文集に掲載する広告を募集いたします．論文集はダウンロード版で作成します．広告はPDFで論文集に収録するとともに，印刷物を当日配布するプログラムに添付します．皆様のご協力をよろしくお願い致します．

【行事参加】

G-CPD ポイント：6.5

日 時：2023年11月3日(金) シンポジウム：9:00～18:00
会 場：関西大学 100周年記念会館（大阪府吹田市 千里山キャンパス内）
大阪府吹田市山手町3丁目3番35号
交通:阪急電鉄千里線関大前駅より徒歩5分
※Zoomを用いたハイブリット形式で開催
参 加 費：正会員・特別会員・協賛団体の会員 5,000円
学生である会員 2,000円
非会員 7,000円

シンポジウム参加申込み方法：

参加ご希望の方は，下記期日までに，地盤工学会関西支部 HP (<http://www.jgskb.jp/>) よりお申し込みください．その際，WEBでご参加頂く場合は，連絡事項欄に「WEB参加」と記載してください．**特に記載がない場合は，対面でのご参加とさせていただきます．**また，参加方法を変更される場合は，事務局までご連絡ください．申込受付後，参加証，請求書および郵便振替用紙をお送りいたします．FAXやメールでも受付しております．なお，参加費の納入は郵便振替でお願いいたします．

参加申込期日：2023年10月18日（水）

- ・ 2023年10月19日（木）以降の参加申込のキャンセルはお受けできません．
- ・ シンポジウム当日会場での現金によるお支払いは，お受けいたしません．
- ・ 論文集の印刷物（冊子製本版）の郵送や配布はございませんので，各自必要に応じて事前にダウンロードもしくは印刷していただき，当日ご持参ください．
- ・ 参加申込者には当日までに「参加者マニュアル」を送付します．各自熟読の上ご参加下さい．
- ・ Zoom ミーティング ID およびパスワードは，参加者マニュアルとともに送付いたします．
- ・ 事前申込がない場合，当日オンラインおよび会場での参加はできません．

【プログラム】

	総合会場	A 会場	B 会場
9:00～9:15	開会挨拶 芥川 真一（地盤工学会関西支部 支部長） 大島 昭彦（地下水地盤環境に関する研究協議会 座長）	空き	空き
9:20～10:40	空き	セッション 1：地下水流動・地中熱（地下水協議会セッション）	セッション 2：「斜面災害リスク軽減のための 4D 多層型ハザードマップの構築とその活用方法に関する研究委員会」特別セッション
10:50～11:50	基調講演 「長大な土構造物を見守る新たな眼～河川堤防や路面下空洞を対象とした調査・観測技術の研究～」 森 啓年（山口大学工学部准教授）	空き	空き
11:50～12:20	技術紹介セッション	空き	空き
12:20～13:40	昼食休憩		
13:40～15:10	技術展示・ポスター設営	セッション 3：耐震・防災・減災（地盤工学会セッション）	セッション 4：防災・地下水地盤環境（地下水協議会セッション）
15:20～16:00	技術展示・ポスター発表コアタイム&コーヒープレイク	空き	空き
16:10～17:40	技術展示・ポスター撤収	セッション 5：室内/現場試験・調査・施工技術・現場計測技術（地盤工学会セッション）	セッション 6：「夢洲の地盤性状と沈下性状に関する研究委員会」特別セッション

9:20～10:40 セッション 1：地下水流動・地中熱（A 会場）

座長：北岡 貴文（関西大学）

- 1-1 大和川現河道から旧河道への地下水流出に関する研究
○齋藤雅彦（神戸大学），伊藤浩子，今城由貴，小梶登志明，神谷浩二
- 1-2 濃尾平野の揖斐川・粕川扇状地における水田灌漑に伴う地下水涵養機能
○伊藤廉真（岐阜大学），神谷浩二，小島悠揮
- 1-3 地理情報システムを活用した地中熱利用システム普及のための総合的検討
○濱元栄起（埼玉県環境科学国際センター），伊藤浩子，鍵本司，春日井麻里，神谷浩二，高井敦史，宮田修志，森川俊英，吉岡真弓，内田洋平
- 1-4 大阪平野における農業分野での地中熱利用の実態調査
○宮田修志（ハイテック株式会社），小梶登志明，神谷浩二，濱元栄起，伊藤浩子
- 1-5 地盤調査ボーリング孔を利用した透水係数推定手法の高精度化に関する検討ー京都府八幡市での調査事例ー
○藤原照幸（一般財団法人 GRI 財団），大谷具幸，三輪義博，中江あすか，加藤裕将，伊藤浩子，水谷光太郎，北田奈緒子，平野浩一

9:20~10:40 セッション 2:「斜面災害リスク軽減のための4D多層型ハザードマップの構築とその利活用方法に関する研究委員会」特別セッション (B会場)

座長: 鳥居 宜之 (神戸市立工業高等専門学校)

- 2-1 綾部市安国寺の裏山斜面における体積含水率の現地計測結果に対するデジタルツイン的発想に基づく土壌水分特性の経時変化
小田和広, ○太田洗稀 (大阪産業大学), 前田栞汰, 小泉圭吾, 伊藤真一
- 2-2 現地局所雨量観測に基づく局地的大雨における土砂災害発生危険度評価ー福井市高須町における「2021年7月29日の大雨」と「2022年8月4日から5日の大雨」の比較ー
○浅井奏音 (関西大学), 小山倫史, 近藤誠司, 山田忠幸
- 2-3 斜面内体積含水率の推定結果に対するタンクモデル構造の影響についての考察
○阪谷天晴 (京都大学), 宮崎祐輔, 小山倫史, 藤原照幸, 藤本将光, 岸田潔
- 2-4 畳み込みニューラルネットワークを用いた画像解析による土石流検知
○鍋島康之 (明石工業高等専門学校), 石松一仁, 竹ノ内史弥, 下田清太郎
- 2-5 傾斜センサーと土壌水分計センサーを用いた鉄道切土斜面の管理システム
○片山輝彦 (株式会社アサノ大成基礎エンジニアリング), 藤森研治, 大石健太郎, 松尾裕一朗, 竹村尚樹
- 2-6 長さの異なる静電容量式棒状土中水分センサによる斜面のセンシング手法に関する基礎研究
○藤本創太 (大阪大学), 小泉圭吾, 榊利博, 片山博之

10:50~11:50 基調講演:「長大な土構造物を見守る新たな眼~河川堤防や路面下空洞を対象とした調査・観測技術の研究~」(総合会場)

森 啓年 (山口大学工学部 准教授)

11:50~12:20 技術展示セッション (総合会場)

13:40~15:10 セッション 3: 耐震・防災・減災 (A会場)

座長: 野並 賢 (神戸市立工業高等専門学校)

- 3-1 T型橋脚における上部構造のロッキング振動を考慮した直接基礎の動的応答
山下典彦, ○久保田晃平 (大阪産業大学), 宮脇幸治郎
- 3-2 高圧噴射攪拌地盤改良による既設河川堤防等への耐震補強技術とその事例
○野須晴喜 (小野田ケミコ株式会社), 近藤省一, 西尾経
- 3-3 浮上り限界モーメントを超える場合の2方向偏心作用における剛体基礎の接地圧分布簡便計算法の提案
○植田謙三 (立命館大学), 深川良一
- 3-4 コンクリート表面遮水壁型ロックフィルダムの鉛直継目の破壊挙動に関する研究
○藤本哲生 (大阪工業大学), 大越靖広, 佐藤英明, 黒田修一, 野谷正明, 平松大周
- 3-5 ブロック積み砂防堰堤の機能性に関する実験的検討
○中村達也 (立命館大学), 藤本将光, 原田紹臣, 佐藤哲也, 橋口聡太郎, 神野忠広, 里深好文
- 3-6 底面粘性境界上にはたらく側面粘性境界の粘性力が動的解析に与える影響
○田村彩奈 (神戸大学), 竹山智英
- 3-7 可視光画像解析と室内侵食実験による草本植生の法面保護効果に関する検討ー構成土粒子の粒径に対するー考察ー
○昌本拓也 (鹿児島大学), 岩永蓮太郎, 酒匂一成, 伊藤真一

13:40~15:10 セッション 4: 防災・地下水地盤環境 (B会場)

座長: 乾 徹 (大阪大学)

- 4-1 地形改変と液状化発生の関係 その1ー淀川流域における旧河道領域の推定ー
○北田奈緒子 (一般財団法人 GRI 財団), 長屋淳一, 大島昭彦, 諏訪靖二, 磯野栄一, 野牧優達, 春日井麻里

- 4-2 地形改変と液状化発生の関係 その2 - 旧河道における土質特性 -
 ○長屋淳一（株式会社地域地盤環境研究所），大島昭彦，北田奈緒子，諏訪靖二，磯野栄一，
 野牧優達，春日井麻里
- 4-3 セレンの地中移行特性評価と対策技術に関する事例調査
 ○加藤智大（京都大学），伊藤浩子，小河篤史，勝見武
- 4-4 セレンの地球化学的性質と溶出特性に関する研究事例調査
 ○伊藤浩子（一般財団法人 GRI 財団），加藤智大，小河篤史，勝見武
- 4-5 自然由来の重金属等を含む要対策土の取り扱い事例
 ○小河篤史（株式会社奥村組），佐藤幸孝，清水計，加藤智大，伊藤浩子，勝見武

15:20~16:00 技術展示・ポスター発表コアタイム&コーヒープレイク（総合会場）

- P-1 低負荷型の、掘削岩からの自然由来重金属等による環境影響低減工法の提案
 ○山口尚宏（応用地質株式会社），宮口新治，門間聖子，北畠義裕，成瀬美樹，佐藤敏雄，
 柴田健幹，西本彩香，細野哲久
- P-2 濃尾平野沿岸部における観測値からみた地下水位変動と地盤沈下量の関係
 ○神谷浩二（岐阜大学），榊原裕一，伊藤廉真，小島悠揮
- P-3 細粒土砂を含む土石流と掃流状集合流動の堆積に関する実験的研究
 ○榊原颯輝（立命館大学），藤本将光，里深好文
- P-4 時系列解析による大阪地域の地下水位の長期トレンドについて
 ○井上直人（一般財団法人 GRI 財団），水谷光太郎，伊藤浩子，北田奈緒子
- P-5 福井県における斜面崩壊と累計雨量の関係
 ○杉田光（福井大学），藤本明宏，梅田祐一
- P-6 盛土における網状鉄筋挿入工による圧縮補強効果の高度化に関する基礎的な実験
 ○原田紹臣（立命館大学），疋田信晴，小西成治，藤本将光

16:10~17:40 セッション5：室内/現場試験・調査・施工技術・現場計測技術（A会場）

座長：小山 倫史（関西大学）

- 5-1 現場試験およびカラム試験による濁水低減効果の比較事例
 ○西山浩平（八千代エンジニアリング株式会社），小川邦彦，鷺見浩司
- 5-2 3次元計測技術およびデジタルツインを活用した斜面对策工の施工管理におけるDXの提案
 ○竹内信（公益財団法人滋賀県建設技術センター），鳥居宣之，吉田翔太，吉田美夢，清水葉平，
 橋本康平，石谷貴英
- 5-3 ポリビニルアルコール（PVA）を添加したセメント改良土の強度特性および強度低下特性
 ○三上武子（一般財団法人 GRI 財団），金田一広，青山翔吾
- 5-4 一面せん断強度特性に及ぼす粒子形状と供試体拘束効果の影響
 野並賢，○高橋瑠夏（応用地質株式会社），加藤正司，鳥居宣之
- 5-5 遠距離撮影画像による試験湛水時のダム堤体斜面の変位計測
 ○白川和靖（一般財団法人 GRI 財団），山内淑人，水谷光太郎，北田奈緒子
- 5-6 トレーサ試験を用いた地下ダム止水壁の損傷探査
 ○牧野桃子（神戸大学），鈴木麻里子，井上一哉
- 5-7 大型動的コーン貫入試験の新たな補正打撃回数 N_{dF} 値と N 値， s_u 値の対応関係
 ○田村匠大（大阪公立大学），大島昭彦，中野将吾，塩崎一樹，高橋秀一，平田茂良

16:10~17:40 セッション6：「夢洲の地盤性状と沈下性状に関する研究委員会」特別セッション（B会場）

座長：大島 昭彦（大阪公立大学）

- 6-1 データ同化によって同定された洪積粘土（Ma12）の圧密パラメータの解釈
 ○小田和広（大阪産業大学），松井保

- 6-2 夢洲粘土の圧縮曲線におけるひずみ速度依存性の評価
○渡部要一（北海道大学），宮田喜壽，大矢悠平
- 6-3 大阪港夢洲地区の沖積・洪積粘土の圧密特性－埋立開始前・埋立造成後の圧縮曲線の対比－
○濱田晃之（一般財団法人 GRI 財団），藤原照幸，白川和靖，北田奈緒子
- 6-4 埋立柱材としての浚渫粘土層の変形を考慮した夢洲地盤の変形解析
○三村衛（一般財団法人 GRI 財団），井関康昌
- 6-5 PBD 打設機による軟弱改良地盤の土層分布の推定と層別沈下板の活用例
○大月一真（五洋建設株式会社），榊原司，白神新一郎，大島昭彦
- 6-6 夢洲 2 区(万博用地)の計画標高を満足させる盛土量と浚渫粘土層の沈下予測
○坂口雄人（株式会社大林組），大島昭彦，岡田広久，塩崎一樹，佐々木徹，島一郎，平原毅

【広告募集】

掲載料： 1 ページ 11,000 円（税込み，A4 版）

広告原稿： A4 版

掲載形式： 広告は論文集（ダウンロード版）に掲載．当日は印刷したものを参加者に配布します．

技術展示：

- ・ 広告を申し込まれた方には，参加者の皆様とより多くのディスカッションの機会を持っていただくため，技術展示のスペースをご用意いたします．技術展示をご希望の方は，広告申込時に下記の Kansai Geo-Symposium 2023 運営委員会事務局まで「技術展示出展希望」とご連絡ください．多数の皆様のご参加をお待ちしています．
- ・ 技術展示に出展いただいた機関は，1 機関あたり 2 名まで，シンポジウム参加費を無料とさせていただきます．

申込方法：

広告の内容予定，技術展示ご希望の有無などをご記入の上，書面またはメールでお申込みください．申込受付後，所定のフォーマット，請求書および郵便振替用紙をお送りいたします．なお，掲載料の納入は郵便振替でお願いいたします．

申込・原稿締切：2023 年 10 月 10 日（火）

すべての申込み・問い合わせ先：

Kansai Geo-Symposium 2023 運営委員会

〒540-0012 大阪府中央区谷町 1-5-7 ストークビル天満橋 8 階 801 号室

電話：(06) 6946-0393 FAX：(06) 6946-0383 E-mail：office@jgskb.jp